



## 夏の郊外クリーン活動（7月18日）

7月1日から参加受付開始（詳細 12-13 面）

## 2021 年度総会開催報告（5月22日）



総会の様子

5月22日（土）に2021年度総会を川越市役所 7AB 会議室において開催しました。今年度も広い会場で参加者の間隔を取り、時間も短縮しての実施となりました。すべての議案は原案通り承認されました。主に2021年度事業計画の概要について10-11面に紹介します。

## 目次

コラム	社会と環境について思うこと (11) 経済成長が気候変動に、脱経済成長の実現を!! 2-3
	川越の自然をたずねて (98) 今福ヤマの野鳥たち ..... 4-5
	川越の「宝」をたずねて (24) 小畔水鳥の郷公園 ..... 5-6
報告	かわごえ環境ネットの活動 春の里山 自然観察&クリーン活動 ..... 7
	会員・流域の活動 (4 題) ..... 7-10
	2021 年度総会・理事会・専門委員会 (4 題) ..... 10-12
予告	かわごえ環境ネットからのお知らせ・主催行事 (3 題) ..... 12-13
	会員・関係団体の主催・関連行事 (6 題) ..... 13-15
	広報委員会からのお知らせ ..... 15
	イベントカレンダー (6月2日~7月31日) ..... 16



**【コラム】社会と環境について思うこと (11) 経済成長が気候変動に、脱経済成長の実現を!!**

気候変動は産業革命以降に始まったとされています。

産業革命は物資の大量生産と流通を可能とし、消費の拡大を招き、消費の欲望達成のために、経済を毎年成長させることが国家や為政者の目標・命題になりました。

結果として、環境より経済の成長を追い求める風潮が世界に広がり、今日の気候変動を招いたとされ、脱経済成長の考え方が必要とされますが、その主張は世論に否定されそうです。

令和2年通商白書、令和2年環境白書に掲載されているグラフを使用し、経済成長（GDP）と気候変動の連動状況を考えてみました。

使用したグラフの出典元

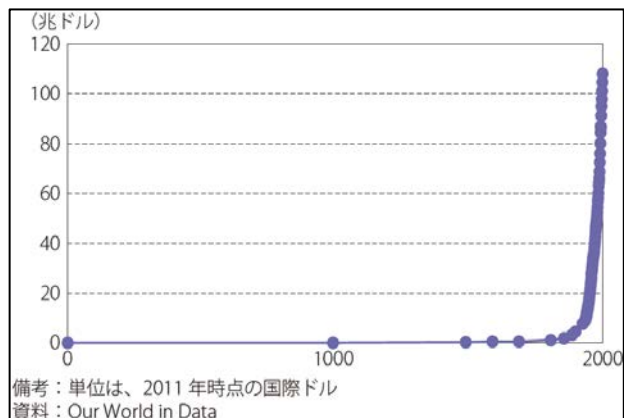
- 1) 令和2年版通商白書
- 2) 令和2年版環境白書

**1. 紀元後の GDP の推移**

GDP：Gross Domestic Product 一定期間内に国内で産み出された付加価値の総額

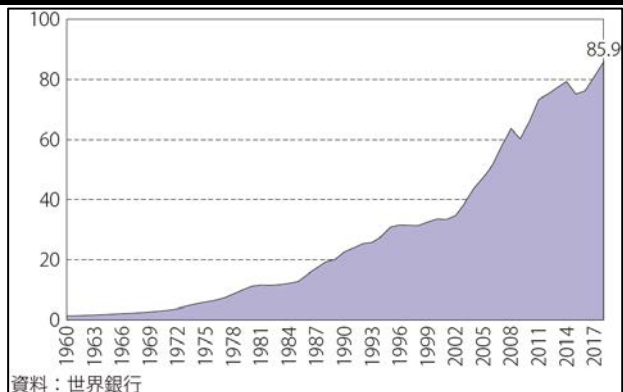
・産業革命は1820年頃に英国に始まり、GDPの伸びは急速に加速した。

・蒸気機関の発明は、石炭を大量に掘り出し運搬することが可能となり、動力源、暖房、製鉄等に使用され、化石燃料の大量消費が始まり気候変動（温暖化）を招いた。



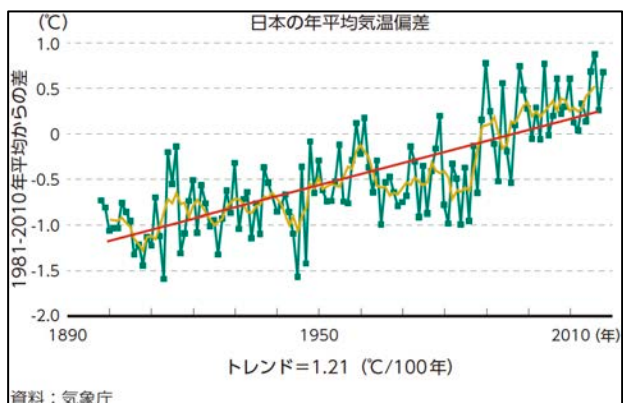
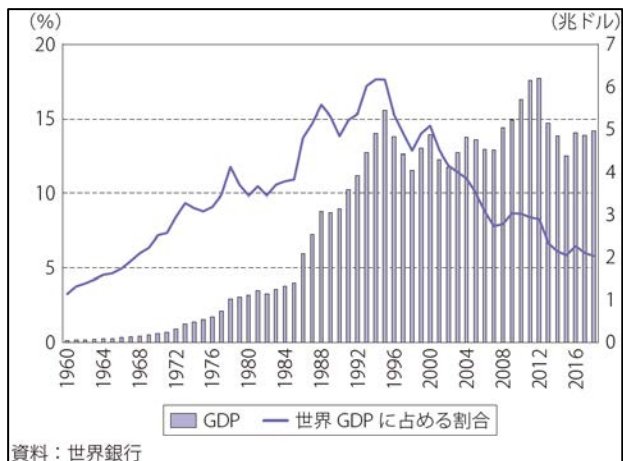
**2. 1960年～2019年までの世界の GDP 推移**

・世界全体 GDP は2019年時点で85.9兆ドル  
・1960年に比べると GDP の規模は約60倍の規模に成長した。



**3. 日本の GDP の推移 (1960年～) と気温**

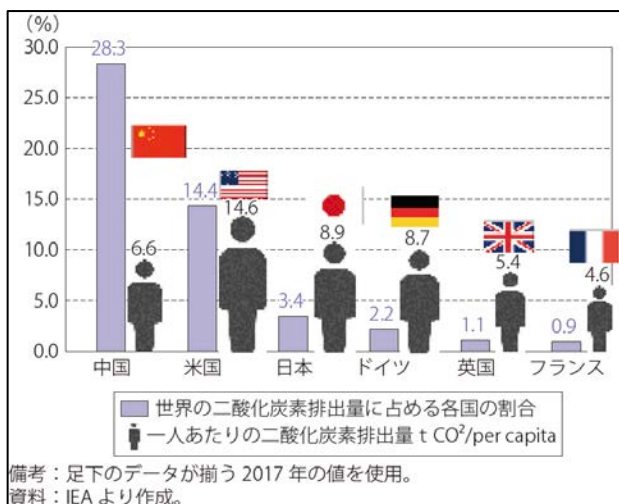
・日本の GDP は1980年代から伸びが加速した。下グラフのように温度が上昇している。



**4. 世界の二酸化炭素排出量に占める各国の割合と1人当たりの二酸化炭素排出量**

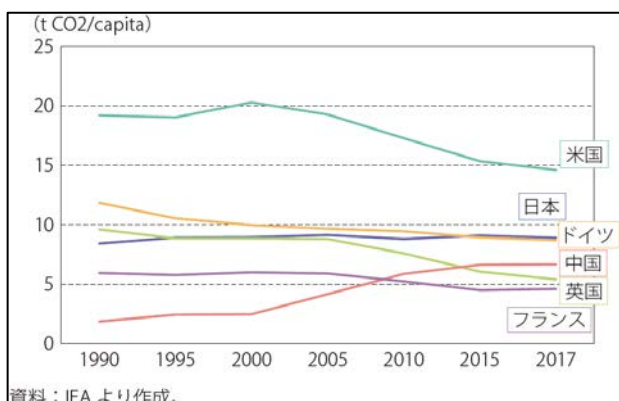
・日本の1人当たり二酸化炭素排出量は主要国の中ではアメリカに次ぐ。

・世界の二酸化炭素排出量に占める日本の割合は高く、中国、アメリカ、インド、ロシアに次いで5番目



世界の二酸化炭素排出量に占める各国の割合と 1 人あたりの二酸化炭素排出量 1) p.329 第 II-3-3-17 図

- ・日本の 1 人あたり二酸化炭素排出量は徐々に減っているが、より一層の削減が求められる。
- ・2000 年以降中国の 1 人あたり二酸化炭素排出量は増えており、人口 14 億人の持つインパクトは脅威である。また、功利主義的な幸福の保証が高い経済成長を支えている。



世界の二酸化炭素排出量に占める各国の割合と一人あたり二酸化炭素排出量の推移 1) p.329 第 II-3-3-17 図

※2017 年のデータと直近のデータでは違いが生じていることにご留意願います。

### 5. グレタ・トゥーンベリさんの訴え

「絶滅の始まりです。なのに、あなたたちが議論しているのはお金や永遠の経済成長というおとぎ話だけ。許せない！」と国連総会で訴えました。

参考文献 テレ朝 NEWS：温暖化に 16 歳少女「絶滅の始まりに」国連で涙の訴え (2019/09/24), [https://news.tv-asahi.co.jp/news\\_international/articles/000165112.html](https://news.tv-asahi.co.jp/news_international/articles/000165112.html)



燃料を大量に消費する飛行機を拒みゼロカーボンの移動手段ヨットで国連に到着したグレタ・トゥーンベリさん (2019 年 8 月 28 日)

©UN Photo/Mark Garten

### 6. 脱成長の考え方で進もう。

経済が成長し続けると地球環境にどのような影響を与えるかを多くの地球人は知っています。わかっています。グラフからもわかります。

経済規模や生活のレベルはどの辺に置けばよいでしょうか。答えは簡単に出ます。

答えは、地球環境を悪化させないように、地球の限りある資源を浪費せずに、細く長く使うことではないでしょうか。地球が破滅ないように、持続的・永続的に人類が住み続けるために使用可能な資源の量を求め、地球の総人口で割った数値以下の資源を、世界の一人ひとりが平等に使用することが答えだと思います。当然大きな痛みを伴います。

大きな痛みを伴う内容を世界や日本で議論し、方針とする必要があります。脱経済成長の考え方です。経済成長は忘れましょう。

「絶滅の始まりです。なのに、あなたたちが議論しているのはお金や永遠の経済成長というおとぎ話だけ。許せない！」とのグレタさんの訴えを受け止め持続可能な地球にしたいですね。

領土争いや考え方の違いの争いを早く止め、地球（世界）が持続可能となる脱経済成長の考え方に転換し、実行することが焦眉の急です。

時間はわずかです。

(菊地三生)



## 【コラム】川越の自然をたずねて (98) 今福ヤマの野鳥たち

野鳥にとって雑木林は宝ものの自然です。5月はバードウィークで、春の渡りと重なり珍しい野鳥を見る(声を聴く)機会が多くなります。今福の川越台地上に広がるまとまった雑木林、大量の「落ち葉たい肥」を今でも農家等に使われ伝統的な管理が続いている今福のヤマ。1年間かけて探し求めたオオタカの営巣。この経験が今福のヤマの野鳥と林の役割を観察する契機でした。

ここの自然環境は「くずはき」を行い、循環型農業に活用されて下草や常緑低木が刈られ、人が入りやすい林内、シノ竹が残されてヤブとなっている林縁、薄暗い竹林、つる植物がちょっと入りにくい林縁と狭い面積でも野鳥にとって多様でやさしい環境が見られます。しかし、乾燥した台地上なので野鳥の水場はありません。

11年間、5月の渡りの季節は毎朝、10月からは「手入れ作業」をしながらの観察、冬の「くずはき」後に姿を現す冬鳥をルーチンのように眺めてきました。この間に見つけたのは48種類の野鳥です。野鳥の行動別に分けると、林に移動・定住している野鳥の種類は19種です(観察数の約40%です)。夏鳥は13種、冬鳥は15種で、不明が1種。



キビタキ (宮澤宏次氏撮影)

林を日常的に活用している野鳥は、採餌、子育てに林の環境を利用します。夏鳥は4月から姿を見せます。この林に1週間程度休んでから夏の営巣地に旅立っていきます。その野鳥の中でもキビタキはこの数年以来、この林で営巣し

子育てをしています。5月中旬を過ぎてもオスのさえずりが聞こえるので、観察しているとメスが虫をくわえているのに遭遇しました。巣は見つかりませんでした。営巣の確証を得ることができました。中継地として利用していた雑木林を繁殖地に選んだ理由はわかりませんが、欠けていた条件が揃ったからなのでしょう。この条件がわかると野鳥と雑木林の自然環境の関連がわかり、林の役割がより詳しくなるのかもしれない。

冬鳥は夏鳥と違って中継地点ではなく、人が行う「くずはき」に依存して厳しい冬を乗り越える目的があります。モズ、ヒタキ類、ツグミ、シロハラは人の営みに依存して作業している人の近くまで寄ってきます。最近では珍しくなったトラツグミ、クロツグミを見つけました。

この林で、減っている野鳥はイカル、カッコウ、ビンズイです。観察例が少ないのはウソ、コサメビタキ、キセキレイ、カシラダカ、カッコウ、オオルリです。1990年代に下松原の雑木林(今は森林公園計画地)で「いたばし野鳥クラブ」と“5年間の野鳥調査”をした時代は68種類の野鳥を観察しています。林の広さ、自然の多様性と調査能力は大きく異なりますが、雑木林が野鳥の生息や移動に欠かせない場所であることが見てとれると思います。

夏鳥は、新緑に蛾などの幼虫が一斉に発生する時期に渡ってきて、これらを捕食して渡りへの体力をつけます。また定住の鳥たちにとっても子育ての絶好のチャンスとなり、つながり合った生態系が野鳥や林のサステイナブルや共生を維持する大きな役割を果たします。

繁殖地と越冬地が分かれている野鳥は、その両方の自然環境が保全されなければ絶滅の危険が増加します。川越の雑木林は中継地点および繁殖地、越冬地としての大切な役割を持っており、野鳥の保護を推進するためには、積極的な保全が求められていると思います。「Today Bir

ds, Tomorrow Men」の言葉をかみしめ、「明日 もらいたいと考えます。

を予測して”身近な自然環境の大切さを感じて

(福原水と緑の会 過昌司)

11年間の野鳥調査のまとめ

定住か移動	回数	夏鳥	回数	冬鳥	回数
オオタカ	11	キビタキ	10	シロハラ	10
コゲラ	11	センダイムシクイ	8	ツグミ	10
コジュケイ	11	ツバメ	8	モズ	10
シジュウカラ	11	イワツバメ	6	ジョウビタキ	9
ハシブトガラス	11	アオバズク	1	カケス	8
ヒヨドリ	11	イカル	1	アオジ	7
アオゲラ	10	オオルリ	1	アカハラ	7
エナガ	10	カッコウ	1	ルリビタキ	7
メジロ	10	クロツグミ	1	シメ	7
カワラヒワ	9	コサメビタキ	1	アカゲラ	5
ガビチョウ	9	ホトトギス	1	トラツグミ	2
キジバト	9	マミチャジナイ	1	ビンズイ	2
ホオジロ	9			ソウシチョウ	2
スズメ	8			カシラダカ	1
ムクドリ	8			ウソ	1
ヤマガラ	8				
ウグイス	7			不明	
オナガ	6			カオグロガビチョウ	1
ハクセキレイ	3				
キセキレイ	1				

※ 回数は11年間に見られた年数

【コラム】川越の「宝」をたずねて (24) 小畔水鳥の郷公園



ベンチからみた小畔水鳥の郷公園



小畔水鳥の郷公園



遊歩道

コラム“川越の「宝」を訪ねて”は、かわごえカフェ2019のテーマ、「川越と周辺地域の宝を掘りおこそう」で参加者の皆さんと作成した“川越のお宝マップ”の地点を紹介していくコラムです。

今月のお宝紹介は「小畔水鳥の郷公園」

雨水調節池を整備した公園で、JR川越線「的場駅」から川越シャトルバスの「小畔水鳥の郷公園バス停」で降りたところにあります。御伊勢橋から下流左岸に位置し、その向かい側になる右岸には御伊勢塚公園があり、両公園の桜並木は春の風物詩となっています。

小畔水鳥の郷公園の池の内部にある出島には多くの鳥が羽を休めさえずっています。穏やかな日に見晴らしデッキや遊歩道からバードウォッチングを楽しむなど、レクリエーションの場と言えますが、一方で防災の機能を担っている公園でもあります。

小畔川は下流の落合橋付近にある入間川と合流する流域で大雨による浸水被害が発生しやすいため、過去の災害から学び、洪水が発生しない街づくりの工夫として、雨水調節池が造られました。

1964(昭和39)年から角栄団地の造成が始ま



り、霞ヶ関そして、1970（昭和45）年を過ぎると伊勢原地区にあった工場跡地から団地へと大規模住宅開発に取り掛かります。この開発も間もない1966（昭和41）年6月には台風4号による小畔川の増水で霞ヶ関の一部エリアが浸水、9月にも集中豪雨によって一部浸水被害が生じています。川と共に生きるからこそ、洪水や浸水といった自然の猛威に直面しながらも、街づくりの中で川と共存するため防災という知恵の一つとして雨水調節池を造っています。

近年は、気候変動により想定以上の雨量をもたらす気象の極端化もあって、災害をすべて防ぐことは難しいですが、都市化していく街に防災機能の調節池をつくり、その池を平時はレクリエーションの場として活用するこの小畔水鳥

の郷公園の新緑から濃緑に変わった木々やセキレイやシジュウカラ、カワセミなどの鳥の営みを観察しに出かけてみてはいかがでしょうか。

### 小畔水鳥の郷公園へのアクセス

○最寄駅 JR川越線「的場駅」より徒歩21分、東武東上線「霞ヶ関駅」より徒歩24分

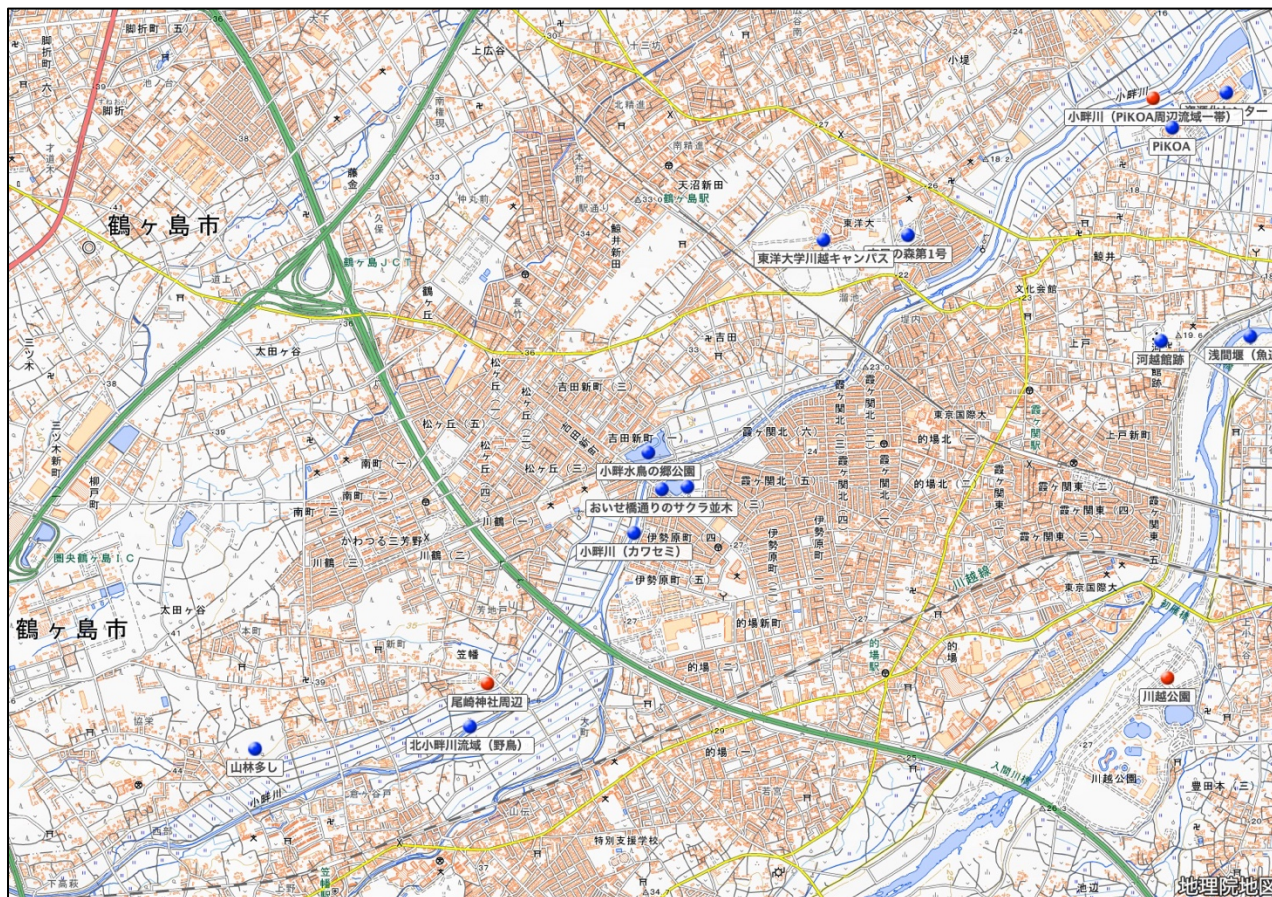
○バスの場合 的場駅より川越シャトルバス（14系統）「小畔水鳥の郷公園バス停」よりすぐ

○車の場合 関越自動車道「川越IC」より18分、圏央道「狭山日高IC」より25分

（飯島希）



川越の「宝」全データのKMLファイル（ダウンロード）



小畔水鳥の郷公園周辺の川越の「宝」マップ（国土地理院の電子地形図（タイル）に地点を追記して掲載）

**◆かわごえ環境ネット会員募集**

個人会員、団体会員を随時募集しています。会員になると本紙「月刊かわごえ環境ネット」などの情報をお届けします。年会費は個人会員1,000円、団体会員2,000円。詳細は、かわごえ環境ネット事務局かWebサイト（<https://kawagoekankyo.net>）へ。





## 【報告】かわごえ環境ネットの活動

### 春の里山 自然観察&クリーン活動 (5月9日実施)



木もれ日の中で観察&クリーン活動



細かいごみも見逃さない!!



成果を前にして 今年は少なめ!!

5月9日(日)に第3回目の「春の里山 自然観察&クリーン活動」を(仮称)川越市森林公園計画地で行いました。コロナウイルス感染防止を図りながらの活動でした。なお、昨年春は関係者のみで開催しました。

参加者は市民の方々20名、スタッフ11名、参加者の年齢は8歳~80代の多様な方々でした。9:45参加者全員が軍手をはめトングを持ってクリーン活動を開始。観察はかわごえ環境ネット20周年記念で上梓した「川越の自然」を使用しての観察。一班は稗島さん、二班は横山さんの案内で、初心者でも興味がわくわかりやす

い説明で進められました。好評でした。スタッフも説明に従事しました。

昨年見られたキンラン、ギンランの花も終わりちょっと残念でしたが、緑が深まる森の中をコナラ、ウグイスカグラ、エゴノキなどを観察しながらごみ拾いをしました。

かわごえ環境ネット自然環境部会や「木びちこの会」などの日ごろの保全活動により、ごみの量が少なくなっておりました。

集めたごみは川越南文化会館で分別し、記念の集合写真を撮り11:45に解散しました。

(菊地三生)

## 【報告】会員・流域の活動

### 森の声が聞こえる



下草を刈る



つるをはがす



この日のメンバー

5月の柔らかな緑の林にチェーンソーの音が響く。昨年秋、保護活動をして明るくなった隣接する林では今年初めてオドリコソウが群生した。紫色だけではなく白色もあった。昨年発足した植生に目を向けた機動力もある川越フォレストクラブの活動は、生態系保全にとって画期的、かつ必要不可欠なものだと思う。その活動に参加できてうれしい。5月12日水曜、2か

月ぶりの活動日、動力を使わないグループは、まず木に巻き付いているつる性植物をはがした。幼木にはつるがめり込んでいる。痛そうだなと思いはがすと、木が喜んでいるように感じた。

次に背丈ほども伸びたアズマネザサを刈り込むと、数本の小さなユリが顔を出した。花はまだだが、その葉の上に初夏の陽光がまぶしい。



ヤマユリなら、実生から花をつけるまで5年がかかるという。十分な陽光を受けて大きな花をつけてくれたらうれしい。

動力を使うので出で立ちは物々しいが、残すべきものは残し、除伐した方がいいものは伐り、2時間弱の活動を終えたみんなの顔はやさしさと充実感にあふれている。お茶を飲みながらの

軽妙なトークに笑いが起きる。森林は不思議だ。月に一度しか会わない人たちを、子どものころからの友だちのようにしてくれる。さわやかな風が心地よい。楽しかった。次回の活動が待ち遠しい。仲間がもっと増えるとよいと思う。

(藍谷理恵子)

## 田んぼの移ろいに季節を感じて



養蜂にチャレンジ

風薫る5月、心地よい季節となりました。

かわごえ里山イニシアチブの活動場所の福田の田んぼは、農薬・化学肥料不使用でお米を栽培しています。ゆえにこの季節は、緑肥としてのレンゲとストロベリーキャンドルが田んぼ一



ミツバチとレンゲ



一斉に咲き誇ったレンゲ田んぼ



今年も真っ赤な花を咲かせたストロベリーキャンドル田んぼ

## NPO 法人かわごえ里山イニシアチブ

面に咲き誇ります。初春に養蜂活動が始まり、一面の花々の蜜を集めているミツバチたちがたくさん見受けられました。

連休明けには、田んぼ女子もベテランメンバーに教えてもらいながら、トラクター運転にチャレンジさせてもらい、満開の花々は、漉き込まれてしまいました。まもなく田んぼには水が張られ、代かきを経て、いよいよ田植えをむかえます。

春は草花の芽吹きからお花見、水張りから田植えへと、田んぼの移ろいが大きい季節です。週末ごとに様相が変わっていく田んぼを、畦草刈などの作業とともに体感しています。風薫る田んぼの心地よさに浸る、贅沢なひとときかもしれません。(5月16日入稿, 太田緑)

## 久しぶりのミノムシ

小学生のころ、首に糸をつけて飛ばしたアブや手の平に載せて遊んだアリジゴクのように、ミノから取り出して毛糸くずの中に入れてカラフルなミノを作らせたミノムシも遊び道具の一つでした。梅雨の時期のカタツムリと同様にどこにでもいたミノムシを見なくなったと話題に

なるほど少なくなって20年以上が経過しています。

そのミノムシが、この5月我が家の梅の木を剪定していると葉にぶら下がっていました。主なミノムシはオオミノガとチャミノガの幼虫ですが、オオミノガは終齢で越冬しますから、年



明け後も葉を食べたこのミノムシはチャミノガと思われます。ミノに付けられたたれた小枝はまだ緑色できれいな形でした。子どものころ普通に見ていたミノムシはもっと大きく、オオミノガだったようです。

オオミノガはミノの中で春に蛹化し、5月下旬から8月に羽化します。でも、それはオスだけで口は退化していて、餌を食べません。メスは成虫になってもイモムシ状で翅も脚もなく、口も退化して、ミノの中でフェロモンを出して呼んだオスと交尾します。交尾後、ミノの中に生みつけられた数千個もの卵は2~3週間すると孵化し、一斉にミノから飛び出していきます。数千匹もの1mmあまりの幼虫がミノの中にいることは不思議な気がします。多くは食べられたり死んだりしていなくなりますが、時に大繁殖して被害が大きくなることもあり、1990年ごろ、中国では天敵のオオミノガヤドリバエを放ち、駆逐を図りました。86.7%という寄生率も報告されるくらい、その効果はとて大きかつ

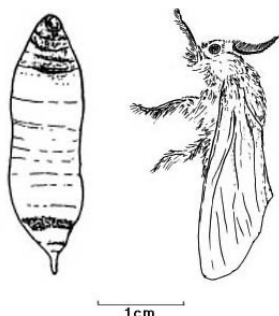
たようです。オオミノガにしか寄生しないこのヤドリバエは、ミノムシが食べている葉の近くに卵を産み、卵は葉と一緒に体の中に入ります。消化管の中でかえったヤドリバエの幼虫は、ミノムシを体の中から食べますが、一寄主に数十匹ものウジが寄生できると言われていいますから驚きです。中国から来たと思われるこのヤドリバエで、オオミノガは1990年後半に激減しました。現在、オオミノガは福岡、高知などいくつかの県でレッドデータブックに記載されています(埼玉県は記載されていない)。オオミノガは全滅寸前で被害も少なくなっていますが、生き残った理由の一つとしてこのヤドリバエに寄生する寄生バチがいることがあげられており、食物連鎖の醍醐味を感じます。(賀登勉)

出典・参考文献

- 1) 根来尚(富山市科学博物館): 今月の話題(昆虫) ミノムシ, No.237, 1997.12 ([https://www.tsm.toyama.toyama.jp/\\_ex/public/wadai/kontyu/no237.htm](https://www.tsm.toyama.toyama.jp/_ex/public/wadai/kontyu/no237.htm))
- 2) 小林清之助: ファーブル昆虫記・みのむし, ひさかたチャイルド, 2008



チャノミガ



オオミノガメスとオス<sup>1)</sup>



フェロモンに誘われミノの中



受精から2週間後、ミノから一斉に飛び出す幼虫

## 新河岸川の関係3団体「広域景観づくり連絡会」「いい川づくり連絡会」「水環境連絡会」年度初めの連絡会議 Zoomなどで開催

### 1) 新河岸川広域景観づくり連絡会

今年度の全体会を、5月7日(金)にウェスタ川越3階第4講座室で13:30から開催。コロナ禍で連絡会として予定した活動ができなかった昨年度の報告と会計報告を了承、今年度の事業計画と予算を承認しました。その後、各団体から制約された中での活動の現状についての報告があり、川越市からは直近の新河岸川の情景がうつしだされました。石原橋周辺の川のイベ

ント向けの新しい施設や、自然林を思わせた寺尾調節地がすっかりきれいになっている姿が紹介され、16:30散会しました。

### 2) 新河岸川いい川づくり連絡会

新河岸川を管理する荒川下流河川事務所が主催する「いい川づくり連絡会」は、川越から和光市、東京の北多摩地域から所沢、清瀬など、広い流域の環境団体が参加、清瀬市の公民館で総会の予定でしたが、コロナ禍でZoomに変更

しました。さらに、流域全体の意見交換会が近く Zoom で開かれます。

### 3) 新河岸川水環境連絡会

本年度の全国一斉水質調査が6月6日に行わ

れますが、新河岸川はこの水環境連絡会が独自にまとめています。5月22日に朝霞台の本部に行き、試薬を受け取りました。

(武田侃蔵)

## 【報告】総会・理事会・専門委員会

### 2021年度総会

5月22日(土)に2021年度総会が川越市役所7AB会議室において開催されました。会場出席は18名、委任91名で計109名の出席者となり、議案書作成時点の190会員の過半数で総会は成立しました。

司会は横山副理事長、議長は小瀬(理事長)で議事を進行しました。

議案第1号2020年度事業報告、議案第2号2020年度会計報告及び会計監査報告は一括で審議され、異議なく承認されました。

議案第3号2021年度事業計画(案)、議案第4号2021年度予算(案)について一括審議されました。事業計画の意見として、「活動の成果を社会全体や市の政策につなげていくような面が弱いと感じた。活動を通して、市に対して提言を出す、市の政策に反映させていくといったことは考えているか。」という質疑に対して、「かわごえ環境ネットは、川越市環境基本計画に基づき設立された組織であり、川越市環境基本計画に基づいて作成されている川越市環境行動計画は、市と協働して作成している。現行の川越市環境基本計画は、2025年を目標年度としている。次の川越市環境基本計画の策定に向けて話し合いや市への提言を行い、政策に反映させていきたい。」と小瀬が理事長として回答しました。議案第3号、議案第4号も異議なく承認されました。以下に事業計画の概要を総会議案書から抜粋します。

#### 2021年度事業計画の概要

##### 1. 全体事業

2022年2月下旬に「第20回かわごえ環境フォーラム」をウェスタ川越で開催。

5月9日の「春の里山自然観察&クリーン活動」、7月18日の「夏の郊外クリーン活動」、10月16日の「秋のクリーン活動」、12月19日の川越中心市街地における「歳末まち美化活動」の計4回実施(5月9日は実施済み)。

10月に開催予定の「2021アースデイ川越 in 昭和の街」をはじめ、川越市内外で行われる環境活動の普及・啓発イベントへ出展・参加。

川越市(環境政策課)が主催する環境月間ポスターコンクールにおいて「環境ネット賞」を選定。

6月6日の川越市内河川における「川の一斉水質調査」を流域団体の参加団体として実施。

「市民環境調査」「かわごえ生き物調査」など、川越市が実施する環境調査に協力。

「川越市環境行動計画」の推進のため、「環境に配慮した行動(チェックシート)」を、行事の来場者や会員・大学生に対して実施。

2021年2月に発行した設立20周年記念出版「新訂版 川越の自然」の頒布を推進。

第20回かわごえ環境フォーラム『かわごえ環境活動報告集』を発行。

川越市が発行する『令和3年度版 かわごえの環境(第5号)』の「市民・事業者の環境への取組状況」に、前年度の川越市環境行動計画の「環境に配慮した行動(チェックシート)」の集計結果及び川越市における本会等の協働事業を掲載。

##### 2. 広報委員会

「月刊かわごえ環境ネット」を年12回発行。

「会員限定メールサービス」の利用者を大幅に拡大。



Webサイトの運営とソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）、動画配信サービス YouTube を活用することで、情報のデジタル化を積極的に推進。

### 3. 社会環境部会

- ①定例会の活性化とコラムの充実：例会では、前半はかわごえ環境ネットの全体事業や社会環境部会の活動に関する報告及び協議を行い、後半は部会員が持ち寄った社会環境に関するテーマの発表と意見交換を行っていく予定。
- ②学習活動：環境講演会を11月に開催。
- ③SDGsの普及・啓発：SDGsをより広めていくためのワークショップを計画。
- ④社会環境に関する調査：新規事業として社会環境に関するアンケート調査を実施予定。
- ⑤他の環境関連団体との連携強化：他の団体への見学やインタビュー等を実施。
- ⑥イベント出展：「アースデイ川越」、「北公民館

まつり」については今年度も積極的に参加予定。

### 4. 自然環境部会

- ①行政とのパートナーシップ：川越市の「かわごえ生き物調査」に協力。生き物観察会を共催で実施。
- ②調査・保全再生活動：「(仮称)川越市森林公園」計画地、池辺公園での定例活動を実施。定点的に行っている寺尾調節池周辺での調査活動も継続。全市的な生き物調査は未調査のメッシュをカバー。ナラ枯れ被害が見られる雑木林の調査・対策を地元ボランティアに協力して実施。
- ③自然観察会：募集人数を少なくするなどの対策をとって実施する予定。
- ④イベント：かわごえ里山イニシアチブと共催の「田んぼの生きもの調査」を実施予定。小畔川の自然を考える会と共催の「小畔川魚とり遊び」を、募集を少なくして実施予定。  
(小瀬博之)

---

## 理事会・事業運営委員会

5月19日(水)9:00-10:00に第2回事業運営委員会、10:00-11:45に第3回理事会を開催しました。一括して主要な事項を報告します。

- ①春の里山自然観察&クリーン活動(5月9日開催)：時間がずれたため直接の被害はなかったのですが、歩行ルート中に大規模な折れ枝が発生したので、林内の安全に対するリスクの周知が必要であるという意見がありました。
- ②総会について：5月19日(土)に開催される総会のキャストニングを確認しました。まん延防止等重点措置の期間であるため、短時間での開催としました。

③「川の一斉水質調査」(6月6日)：調査か所の候補と水質調査会場、総会開催前に打ち合わせを行うことを確認しました。

- ④「川越若者会議」の対応：増田副理事長より、7月31日(土)に開催される川越若者会議(川越青年会議所主催)の意見交換の場に、本会から増田副理事長、横山副理事長、菊地理事が参加するとの報告がありました。
- ⑤会員動向：個人2名が入会、団体1会員が退会し、5月19日現在の会員数は、個人142、民間団体23、事業者25、行政1の合計191となりました。  
(小瀬博之)

---

## 社会環境部会

5月14日(金)に福田ビル3階にて8名の参加で例会は開催されました。

新年度になり、社会環境部会でも少しずつですが、これまでとは異なる企画が動き出しています。例会の初めには、新訂版「川越の自然」

の周知活動を社会環境部会のメンバーにも呼びかけました。活動報告としては、「新河岸川広域景観づくり連絡会」の令和3年度全体会への参加報告、および「春の里山 自然観察&クリーン活動」の活動報告をしました。

今後の活動については、埼玉県の職員に県内で取り組んでいる事業についてレクチャーしていただき、県政出前講座の検討を進めました。早速実施してみようと話が進み、6月11日(金)の例会の時間を使い、埼玉県内におけるSDGsの取り組み状況について「埼玉版SDGs」とい

うテーマでオンライン講座をしていただく予定です。

その他、新河岸川でのフィールドワークの検討や、市内の農業に関する意識調査のためのアンケート作成に関する意見交換を行いました  
(社会環境部会代表 増田知久)

## 自然環境部会

5月14日(金) 福田ビル3階にて10名の参加で例会が開催されました。

### 1. 活動報告

#### ①「(仮称)川越市森林公園」計画地定例活動

4月12日(月) 23名参加, 4月26日(月) 20名参加, 5月10日(月) 19名参加 樹木の種類を調査(全域ではないが70種ほど)

②池辺公園定例活動 4月13日(火) 雨中止, 5月11日(火) 参加者7名 樹木調査(37種)

③川越フォレストクラブとの協働手入れ 5月12日(水) 8:30-12:00 参加者9名 「(仮称)川越市森林公園」計画地 初雁高校向い側 別ページ報告参照

④「生き物調査2021」各グループの進捗状況の報告 4グループで未調査メッシュコードを分担している

⑤「かわごえ里山イニシアチブ」からの報告 ストロベリーキャンドル、養蜂など多様な実践展開中

⑥下赤坂ふるさとの緑の景観地の再生活動 2300m<sup>2</sup>の市有地 植物調査、下草刈り、枯損木処理

### 2. 協議事項

#### ①生き物調査2021のスポット調査について

植生の特徴あるエリアでの現地学習として、5月26日笠幡の森(個人所有の6haほどの平地林)、6月4日小畔川流域の「かほく運動公園」周辺でおこなうこととした。

#### ②ナラ枯れ被害木への対応について

「(仮称)川越市森林公園」計画地においてカシナガホイホイ+防虫ネット、TWT(トランク・ウィンドウ・トラップ)などの防除法を5月中に試みる。

協議事項ではないが、昨今のメガソーラー設置で、周辺の自然景観や生態系を壊し、むしろ自然破壊になっている現状について意見交換があった。

(社会環境部会代表 賀登環)

## 予告の掲載に際して重要なお知らせ

新型コロナウイルスの感染状況により、かわごえ環境ネット主催の行事等において予定の変更がある場合には、本会ホームページ(<https://kawagoekankyo.net>)でお伝えします。会員団体等の行事についても、情報が入ればホームページに掲載いたしますが、参加しようとする前に問い合わせ先にご確認ください。

## 【予告】かわごえ環境ネットからのお知らせ・主催行事

### 【トピック】夏の郊外クリーン活動(7月18日 日曜日開催)

かわごえ環境ネットでは、春夏秋冬の4回のクリーン活動をしております。

夏は7月18日(日)に活動を行います。多

くの方の参加をお待ちしています。

日時:7月18日(日) 9:30-11:30

場所:川越市民聖苑やすらぎのさと



(川越市小仙波 867-1)

参加申込：7月1日(木) 10:00 から電話で環境政策課 (Tel.049-224-5866)

かわごえ環境ネット担当者：渡辺 (Tel.049-242-4322)、菊地 (Tel.080-5546-2362, E-mail: kik

ums@beige.ocn.ne.jp

なお、秋のクリーン活動 10月16日(土)、冬の川越中心市街地歳末まち美化活動 12月19日(日)を予定しています。

## 自然環境部会主催事業

★「(仮称)川越市森林公園」計画地 植物調査・保全活動 (毎月第2・第4月曜日)

日時：6月14日・28日, 7月12日・26日(月) 9:30-12:30

集合：川越南文化会館(ジョイフル)(川越市今福1295-2)

問い合わせ：賀登 (Tel.049-234-9366)

★池辺公園定例活動 (毎月第2火曜日、変更の場合もあります)

日時：6月8日・7月13日・8月10日(火) 9:00-12:00

場所：池辺公園(川越市池辺1302)

問い合わせ：賀登 (Tel.049-234-9366)

★社寺林の観察会

日時：6月20日(日) 9:30-12:00

場所：喜多院(川越市小仙波町1-20-1)、中院(川越市小仙波町5-15-1)

★キノコの観察会

日時：7月3日(土) 9:30-12:00

場所：「(仮称)川越市森林公園」計画地

「社寺林の観察会」「キノコの観察会」はいずれも募集人員20名、参加費200円、申し込み環境政策課 (Tel.049-224-5866)

## 会合

◆広報委員会 (2021年6月度)

日時：6月2日(水) 9:00-9:30

オンラインミーティング (委員には別途案内)

\*次回は7月7日(水) 9:00-9:30 オンライン

●社会環境部会 (2021年6月度)

日時：6月11日(金) 13:00-15:00

場所：福田ビル3階会議室(川越市郭町1-2-3)

13:00から1時間程度、県政出前講座「埼玉版SDGs」を開催します。

\*次回は7月9日(金) 13:00-15:00 同所

\*会員はどなたでも参加できます。

●自然環境部会 (2021年6月度)

日時：6月11日(金) 15:00-17:00

場所：福田ビル3階会議室

\*次回は7月9日(金) 15:00-17:00 同所

\*会員はどなたでも参加できます。

◆事業運営委員会 (2021年度第3回)

日時：6月16日(水) 9:00-10:00

場所：福田ビル3階会議室

\*次回は7月14日(水) 9:00-10:00 同所

◆理事会 (2021年度第4回)

日時：6月16日(水) 10:00-12:00

場所：福田ビル3階会議室

\*次回は7月14日(水) 10:00-12:00 同所

## 【予告】 会員・関係団体の主催・関連行事

### NPO 法人かわごえ里山イニシアチブ

問い合わせ：増田純一 (E-mail: hatsukarinosato@googlegroups.com, Tel.070-5599-2623)

ホームページ <http://kawagoesatoyama.ciao.jp/>

当会では、生物多様性豊かな田んぼの保全を 目的に、みんなで連携して環境にやさしいお米

作りをしながら田園風景の保全や地域づくりを行っています。入会は随時受け付けております。



Web サイト



Facebook ページ



Twitter

### ◎田植え (中止)

6月5日(土)に予定されていたイベントとしての田植えは、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止としました。なお、すでに機械植えにより田植えは進められています。

### ★田んぼの生きもの観察会

日時：6月26日(土) 9:30-13:00 (9:15 受付開

始)

集合場所：CO 江戸かわごえ初雁の里田んぼ(川越市福田 310 地先)

参加費：一般 500 円(中学生以上)、かわごえ里山イニシアチブ及びかわごえ環境ネットの会員は無料(かわごえ環境ネットとの共催事業)

### ◎マコモ葉収穫体験

日時：7月10日(土) 10:00-13:00 (9:30 受付開始)

場所：川越市福田のマコモ田んぼ(同上)

参加費：無料

日本薬科大学の農業体験プログラムとして行うものですが、同時に一般募集をするものです。

---

## クリーン&ハートフル川越

問い合わせ：渡辺利衛 (Tel&Fax.049-242-4322)・武田侃蔵 (Tel.090-2521-5770)

◎「やめましょう!歩きタバコ・ポイ捨て・自転車放置」のゼッケンや「かわごえ環境ネット」の腕章をつけて、まち美化啓発運動

### ①第1火曜日・第3金曜日

日時：6月18日(金)、7月6日(火)・16日(金) 13:30-15:00

川越駅東口アトレ横歩道橋下から川越市役所まで。

### ②第2日曜日

日時：6月13日・7月11日(日) 9:30-11:00

本川越駅交番横から各方面に分かれて活動、中央公民館でごみまとめ、解散。

### ③第4土曜日

日時：6月26日・7月24日(土) 13:30-15:00

川越駅東口アトレ横歩道橋下から本川越駅ま

で。ペペ地下のごみ収集所で分別、解散。

### ◎川の国・新河岸川市内流域の清掃

原則として第4日曜日 9:00 より 2 時間。参加できる人は、担当箇所分担の割り振りのため、実施日の3日前までに武田(090-2521-5770)へご連絡ください。

### ①6月27日(日) 9:00-11:00

旭橋右岸たもとに集合。上流・下流に分かれて兩岸清掃。旭橋左岸の空き地横で分別収集。解散。

### ②7月25日(日) 9:00-11:00

新河岸川観音下橋横集合。東武東上線鉄橋横の埼玉土建事務所前の川の中と兩岸清掃しながら三日月橋まで。近くの駐車場で分別整理して解散。

---

## 松岡壽賀子(社会環境部会)

問い合わせ：高階南公民館 (Tel.049-245-3581)

◎かんきょうサロン「健康と環境とお財布にやさしい生活術」

会場：高階南公民館 1 階(川越市藤原町 23-7)

参加費：無料

かんきょうサロンでは参加された方みなさんと環境や暮らし方、家族の健康について井戸端

会議のようにお話ししています。1 人でも多くの人が動いたら、減災・防災につながります。

### ①6月17日(木) 13:00-15:00

テーマ：暑さ対策について

### ②7月15日(木) 10:00-12:00

テーマ：水関係について



持ち物：直近2～3か月分の電気・ガス・水道の  
料金票、マイ箸袋作成の方は25cm四方の布ま

たはハンカチ、裁縫道具

\*日程等は諸事情により変更・中止になる場合があります。

---

### 小畔川の自然を考える会

問い合わせ・申し込み：賀登環 (Tel. 049-234-9366)

#### ◎魚類調査

日時：7月25日(日) 10:00-12:00

場所：かほく運動公園(川越市霞ヶ関北6-28-2)

前の親水ゾーン

手網でガサガサをして、魚類や水生昆虫の調査をします。ウェダーや用具は貸し出します。  
気楽に参加ください。

---

### 川越フォレストクラブ

問い合わせ・申し込み：賀登環 (Tel. 049-234-9366)

◎「(仮称)川越市森林公園」計画地川越初雁高  
校向い側の雑木林の手入れ

日時：7月14日(水) 9:00-12:00

集合：川越南文化会館(ジョイフル)

動力班と手作業班で効率よく、かつ植生に配慮した手入れを行っています。奇数月の第2水曜日の活動です。どなたでもご参加ください。  
今回は9月8日です。

---

### 公益財団法人 埼玉県生態系保護協会 川越・坂戸・鶴ヶ島支部

問い合わせ：内野 (Tel.049-222-1731)、当日の携帯電話連絡 (Tel.090-7003-8617)

#### ◎伊佐沼でバードウォッチング

(毎月第2日曜日、雨天中止)

集合：10:00 伊佐沼西岸蓮見橋近くのあずまや

持ち物：筆記用具・図鑑・双眼鏡・飲み物

参加費：一般300円、高校生以下100円(保険代・資料代)

①6月13日(日) 10:00-12:00

カルガモ、カイツブリのひなづれを観察します。アジサシなどの夏鳥もいるでしょうか。

②7月11日(日) 10:00-12:00

古代ハスが咲き始め、カイツブリやカルガモのひなは元気に育っています。暑くなりましたが暑さに負けずに観察します。

## 広報委員会からのお知らせ

#### ◎書籍『川越の建物 近代建築編』

本会会員の神谷利一さんから次の情報を提供いただきました。ぜひご覧ください。

『川越の建物 近代建築編』を発行しました。本書では川越市内の近代建築21か所を写真、イラストを用いて紹介します。「近代建築」とは、西洋的な造りの建物や、モルタル、銅板などで建物正面を覆った造りの看板建築等を指します。アニメ番組の一場面のようなイラスト描写を扉絵に活用することで、これまで建物に興味なかった方々にも建物への興味を促します。また、川越を舞台にしたドラマ、アニメなど、作品名

を掲載し、ロケ地を巡る「聖地巡礼」も楽しめるようになっていきます。本書は近代建築を知り、川越の街歩きをより楽しめる一冊として、おススメします。

最後に本会の小瀬博之理事長の協力もあり、無事書籍の発行に至りましたことをこの場を借りて御礼申し上げます。

『川越の建物 近代建築編』定価2,200円(本体2,000円+税)

仙波書房 (<https://www.semba-shobo.com>)

\*会員の方には本紙にチラシを同封・添付しています。

## イベントカレンダー（6月2日～7月31日）

新型コロナウイルスの感染状況によりかわごえ環境ネット主催の行事等において予定の変更がある場合には、情報が入り次第本会ホームページでお伝えします。会員団体等の行事は主催者にご確認ください。

日	月	火	水	木	金	土
★：会員内外対象の公開・出展イベント ●：会員全員が対象の部会・イベント ◆：理事・委員等が対象の理事会・委員会 ◎：会員主催のイベント等 ○：その他 詳細は個別の記事をご覧ください			6.2 ◆9:00 広報委員会	6.3	6.4	6.5 ◎9:30 田植え (中止)
6.6 ★川の一斉水質調査	6.7	6.8 ★9:00 池辺公園定例活動	6.9	6.10	6.11 ●13:00 社会環境部会 ●15:00 自然環境部会	6.12
6.13 ◎9:30 まち美化啓発運動 ◎10:00 伊佐沼でバードウォッチング	6.14 ★9:30 (仮称) 川越市森林公園計画地植 物調査・保全活動	6.15 ○本紙7月号 投稿期限	6.16 ◆9:00 事業運営委員会 ◆10:00 理事会	6.17 ◎10:00 かんきょうサロン	6.18 ◎13:30 まち美化啓発運動	6.19
6.20 ★9:30 社寺林の観察会	6.21	6.22	6.23	6.24	6.25	6.26 ★9:30 田んぼの生きもの観察会 ◎13:30 まち美化啓発運動
6.27 ◎9:00 新河岸川市内流域清掃	6.28 ★9:30 (仮称) 川越市森林公園計画地植 物調査・保全活動	6.29	6.30	7.1	7.2	7.3 ★9:30 キノコの観察会
7.4	7.5	7.6 ◎13:30 まち美化啓発運動	7.7 ◆9:00 広報委員会	7.8	7.9 ●13:00 社会環境部会 ●15:00 自然環境部会	7.10 ◎10:00 マコモ葉収穫体験
7.11 ◎9:30 まち美化啓発運動 ◎10:00 伊佐沼でバードウォッチング	7.12 ★9:30 (仮称) 川越市森林公園計画地植 物調査・保全活動	7.13 ★9:00 池辺公園定例活動	7.14 ◆9:00 事業運営委員会 ◆10:00 理事会 ◎9:00 雑木林の手入れ	7.15 ◎10:00 かんきょうサロン ○本紙8月号 投稿期限	7.16 ◎13:30 まち美化啓発運動	7.17
7.18 ★9:30 夏の郊外クリーン活動	7.19	7.20	7.21	7.22 海の日	7.23 スポーツの日	7.24 ◎13:30 まち美化啓発運動
7.25 ◎9:00 新河岸川市内流域清掃 ◎10:00 魚類調査	7.26 ★9:30 (仮称) 川越市森林公園計画地植 物調査・保全活動	7.27	7.28	7.29	7.30	7.31

### 月刊 かわごえ環境ネット 2021年6月号 No.176

発行日 2021年6月1日 編集・発行 かわごえ環境ネット 広報委員会

事務局 〒350-8601 埼玉県川越市元町1-3-1 川越市環境部環境政策課

Tel. 049-224-5866 (直通) Fax.049-225-9800 E-mail: kankyoseisaku@city.kawagoe.saitama.jp

かわごえ環境ネットホームページ <https://kawagoekankyo.net/>